

<対策のポイント>

安全で品質の高い国産牛乳を学校給食用に安定的かつ効率的に供給すること等により、生乳需要の維持・拡大を図ります。

<政策目標>

- 生乳需要の確保（生乳生産量：750万トン〔令和7年度まで〕）
- 牛乳乳製品の輸出環境の整備（2020年以降のポスト1兆円目標）

<事業の内容>

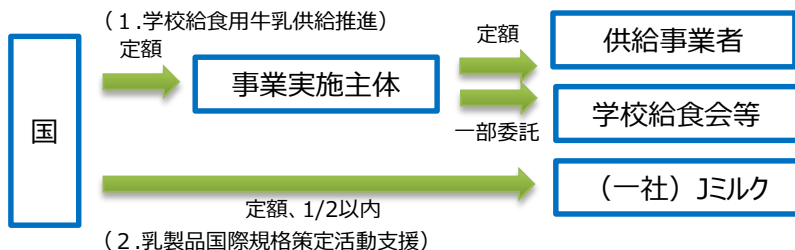
1. 学校給食用牛乳供給推進 650（680）百万円

- ① 学校給食用牛乳の安定的・効率的な供給等を推進するため、**学校給食用牛乳供給推進会議を開催し、事業実施計画の策定、必要な調査等の実施を支援**します。
- ② 遠隔地、離島など**供給条件が不利な地域への学校給食用牛乳の供給を支援**します。
- ③ **小中学校等の学校給食への新規の牛乳供給を支援**します。

2. 乳製品国際規格策定活動支援 10（10）百万円

- 生乳需給の安定を図るとともに、乳製品の需要拡大を図るため、**乳製品国際規格に我が国の意見を反映させるための活動を支援**します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 学校給食用牛乳供給推進



学校給食用牛乳供給円滑化推進

学校給食用牛乳供給円滑化推進会議を開催し、実施計画の策定、供給事業者への指導・監督、供給本数の取りまとめ等の実施を支援



学校給食用牛乳安定需要確保対策

遠隔地、離島など供給条件が不利な地域への学校給食用牛乳の供給を支援



学校給食用牛乳新規利用推進

学校給食への新規の牛乳供給を支援（1年限り）

2. 乳製品国際規格策定活動支援



乳製品国際規格に我が国の意見を反映させるための活動（我が国意見の取りまとめ、国際会合の出席等）を支援